

# 令和5年度「スクール読書チャレンジ運動」実践報告書

学校名	小城市立晴田小学校 児童数 303人	担当者名	宮崎 和代 桃崎 敏子
住所	郵便番号 845-0002 佐賀県小城市小城町畑田2099	電話番号	0952-73-3226

◆ご提出いただいた個人情報は、本事業のためのみに使用し、それ以外の目的に使用することはありません。なお、県における個人情報の取扱いについては、佐賀県プライバシーポリシー及び行動プログラム (<http://www.pref.saga.lg.jp/web/privacy/privacypolicy.html>) に定めています。

## I.取組前の宣言内容

宣言	目標	本の世界を楽しもう！ ～たくさんの本との出会いをもとめて～
	取組期間	令和5年5月8日 ～ 令和5年11月30日

※令和5年4月1日以降、各学校が取組みを始めた日から、令和5年11月30日までの取組みとする。

## II.取組後の評価

評価	取組人数	303人	実施日数	169日	読書冊数	36444冊	連携した団体数	3団体
	取組内容（概要）	<p>昨年度、学年に応じた読書量を確保することを目標に、貸出冊数を低学年120冊・中学年100冊・高学年80冊と定めて取り組んだが、目標とする数を把握できていない児童も見受けられたため、今年度は全学年100冊借りることを目標とした。</p> <p>今年度は、より多くの本に接する機会を設けるため、一人当たりの貸出冊数を昨年度より1冊多い1回につき3冊までとした。3冊のうち、1冊は物語の本を借りるようにし、読書量を確保するとともに読書の質の向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○読書の木の掲示…貸出冊数が100冊・200冊・300冊に達した児童の名前をみかんの模ったカードに記し、掲示を行うことで読書意欲の向上を図った。〔資料1〕</li> <li>○貸出冊数に応じたプラス券の配布…貸出冊数10冊毎に1冊貸出券を配布する。さらに、100冊毎に、プラス券綴りを配布し、読書意欲の向上を図った。〔資料2〕</li> <li>○学年の本棚にある本を読もう！…全校児童に『〇年生の本だなゲットだぜ！』カードを配布し、1冊借りる毎に1つスタンプを押し、カードいっぱいスタンプが押されるとプラス貸出券と引き換えるイベントを、11月の1か月間行い、学年に応じた良書を手にとろうとする意欲の向上を図った〔資料3〕。</li> <li>○図書館まつり（年2回各1週間）…図書委員会主催で、しおりコンクール、読書ビンゴ、図書館くじ、図書館クイズラリー、図書委員体験などに取り組んだ。〔資料4〕</li> <li>○職員のおすすめの本の紹介文を掲示したり、掲示してある職員おすすめの本の紹介文を手にとって閲覧できるようにするため、おすすめの本カードを3部図書館に設置したりすることにより、読書意欲の向上を図った。〔資料5〕</li> <li>○季節や行事、全校集会の話題にそった本の紹介…コーナーを設け、季節や行事に関連した本や平和学習に関連した内容の本を紹介した。〔資料6〕</li> <li>○読み聞かせ（年7回朝の時間）を行う…地域ボランティアと育友会、幼稚園園長、職員による読み聞かせを行った。〔資料7〕</li> <li>○読書タイムの設定…朝の時間に読書タイム（10分程度）を設けた。〔資料8〕。</li> <li>○小城市民図書館からの団体貸出（今年度は年1回）を行った。毎月、移動図書館本</li> </ul>						

	<p>丸くんを活用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小城市民図書館による読み聞かせ会の開催…11月10日に小学1年生を対象に、絵本の読み聞かせ会を開催した。〔資料9〕</li> <li>○毎月発行する図書館便り・うちどくノートの活用・夏休みや冬休みや読書週間で、『うちどく』の勧めなどの家族読書への取組を推奨した。</li> <li>○学校便りや学級通信、全校集会での読書活動の啓発を行った。</li> </ul>
工夫したこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○『〇年生の本だなゲットだぜ!』カード 11月の1か月間、全校児童に『〇年生の本だなゲットだぜ!』カードを配布した。カードには九つの枠があり、『〇年生の本だな』の本を1冊借りる毎に一つスタンプを押し、9つスタンプがたまったら、プラス貸出券と引き換えた。1枚目が終わったら2枚目に進み、2枚目がいっぱいになったら1枚目の時よりもプラスされる数の多いプラス券を配布した。特に低学年では、『〇年生の本だな』の本を借りる児童の数が増え、〇年生の本棚に並んだ本が全て貸し出されていることもあった。</li> <li>○図書館まつり 図書館まつりに、たくさんの児童に来館してもらうために、図書委員がいろいろなイベントを企画して運営した。図書館に関するクイズを図書館内と図書館近辺に掲示し、図書館クイズに答えていくクイズラリー、図書館祭りの期間中に2回本を借りた児童がひける図書館くじなどの新企画を立ち上げた。クイズラリーの問題として取り上げられていたため、教職員のおすすめの本の掲示を読む姿が数多く見られた。また、給食時間に本に関するクイズを放送したり、図書委員体験会を開催したり、図書に関するしおりコンクールを行って優秀作品を掲示したりするなどして、来館者数を増やそうと試みた。また、全種類の分類番号の本を読むことを目標にした読書ビンゴを企画し、分類に関しても興味を持てるようにするなど、多彩な催しを行った。図書委員会の児童や担任の呼び掛けで、多数の児童が参加することができ、より多くの本と接する機会となった。</li> <li>○季節や行事、全校集会の話題にそったおすすめの本の紹介 カウンターの前に「おすすめの本」を紹介するコーナーや、7月に「戦争・平和」コーナーなどを設けた。また、秋の図書館祭り期間の前後、図書委員が企画して四季を感じることでできる本を集め、特設コーナーに「きせつの本コーナー」を作って展示した。</li> <li>○読み聞かせ 高学年の児童も、集中して聞き、お話の世界に浸っている姿が見られた。読んでいただいた本を図書室で借りて読む児童の姿も見られた。</li> <li>○読書タイムの設定 朝の10分間を読書タイムとして設定している。児童は自分で選んだ本を静かに読んでいる。学力向上の一環として、読書をすることによって文字に慣れ、読む力を向上させるねらいももたせている。</li> <li>○小城市民図書館からの団体貸出・移動図書館本丸くん 小城市民図書館より、2学期に1度団体貸出を受け、主に各学年の調べ学習の本の選書に重点を置いた。移動図書館本丸くんは、月に1度本校に来て児童への本の貸出をしてもらっている。5月には、1年生に向けてオリエンテーションを行い、本の魅力を伝えていただいた。</li> </ul>

	<p>○小城市民図書館による読み聞かせ会の開催</p> <p>11月10日に小学1年生の児童を対象に、絵本の読み聞かせを行い、本の世界を楽しんだ。大型絵本をくいいるように見つめ、顔を輝かせてお話に聞き入る姿が見られた。本の読み聞かせだけでなく、おすすめの本を紹介していただいたことで、本への関心を高めることにつながった。</p> <p>○毎月発行している図書便り・読書カレンダーや親子読書の啓発</p> <p>新刊紹介、多読者紹介、調べ学習のステップなどの記事を載せた。調べ学習のステップでは、自分で本を探すときのコツや、索引の使い方、引用や出典等の著作権に関する説明をした。</p> <p>夏休みに、「うちどくノート」、「読書カレンダー」を配布し、『うちどく』を推奨した。家族読書をしての感想を家庭から寄せていただくことにより、家庭との連携を図った。</p>
<p>取り組んだ感想</p>	<p>1年間で100冊読むことを目標としたため、目標数を明確にとらえることができた。11月末時点で貸出冊数が100冊を超えた児童は、全校児童のうち5.2%であった。図書館祭りでは、図書館に行きたくくなるような多様なイベントを図書委員が企画し、実施することができた。図書館まつりの期間中は、連日多くの児童が来館した。貸出手続きの度に、借りている本について声を掛け続け、3冊借りる本のうち、1冊は物語借りるということが児童に定着している。『〇年生の本だなゲットだぜ!』のイベント期間中、学年の本棚の本を手にする児童が増えた。しかし、借りた児童の全てが、じっくり本の中身と向き合えているとはいえない。まずは、手にとることから初め、図書館を身近に感じ、「図書館に行きたい。」「本を読みたい。」と思えるような図書館にしていけるように、図書委員会の児童とともに活動していきたい。</p>
<p>これまでの取組や 今後の取組予定</p>	<p>今後も、図書館まつりやおすすめの本コーナーの充実など、児童が図書館に行きたいと思うような工夫をしていきたい。職員のおすすめの本、季節の行事に関する本などを紹介したり、読み聞かせの時間を計画的に行ったりするなど、全校での取り組みを行い、読書に関する関心を高め、本を身近に感じることができるよう、今後も全校で連携して、図書館の活動を充実させていきたい。</p>

## 〈活動内容〉

### 〔資料1〕晴田っ子 読書の木・プラス券綴り

100冊・200冊・300冊の貸出冊数を達成した児童は、みかんを模したカードに名前を書いて、読書の木に掲示した。



### 〔資料2〕プラス券綴り

貸出冊数10冊毎に配布した1冊貸出券。  
100冊毎に配布した貸出券綴り。



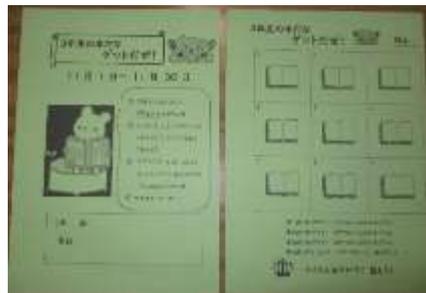
100冊毎の貸出券綴り

1冊貸出券

### 〔資料3〕読書の宝箱コーナー・本の宝箱カード



本の宝箱コーナー



『〇年生の本だなゲットだぜ!』カード

通年を通して本の宝箱コーナーを設けた。11月の1か月間は、学年の本棚にある本を読むことを目指し、全学年に『〇年生の本だなゲットだぜ!』カードを配布し、学年の本棚の本を1冊借りる毎にスタンプを押し、スタンプの数に応じてプラス貸出券を配布した。期間中は、低学年を中心に、学年の本棚の本を借りる児童が数多く見られた。

### 〔資料4〕図書館祭り



クイズラリー



図書館くじをひいている様子

図書館祭りの期間を6月と11月の各1週間設定した。図書館とその付近に掲示された図書館に関する5問のクイズに答えるクイズラリー、図書館祭り中に本を2日以上借りるとひくことのできる図書館くじなど、児童が企画したイベントに楽しみながら参加する児童の姿が数多く見られた。

### 【資料5】教職員のおすすめの本紹介



図書館の南入口に掲示するとともに、図書館内の3か所に「先生のおすすめの本カード」を設置し、より近くでじっくり見ることができるようにした。多くの児童が掲示物の前で立ち止まり、「先生のおすすめポイント」を読んだり、「〇〇先生のおすすめの本」カードを手にとって、じっくり読んだりする姿が見られた。秋の図書館祭りで行ったクイズラリーにも「先生のおすすめの本」に関するクイズが出される他の企画とのコラボレーションも見られた。

### 【資料6】季節や行事に沿ったおすすめの本の紹介



秋の図書館祭りでは、図書委員が季節の本コーナーの設置を企画し、特設コーナーを設けた。

特設コーナーを設けることにより、児童が手に取りやすくなった。

### 【資料7】読み聞かせ



地域のボランティアの方々に来ていただき、今年度は7回読み聞かせ会を行った。毎回、さまざまな分野の本を読んでいただいている。児童は、読み手の方に体を向け、お話に熱心に耳を傾けていた。

**〔資料8〕朝の読書タイムの設定**



**〔資料9〕小城市民図書館による読み聞かせ**



11月に、1年生の児童を対象に小城市民図書館の読み聞かせ会を行った。

大型絵本の読み聞かせでは、近くに座る児童に笑顔で同意を求めながらお話の世界を楽しんだり、身を乗り出して本に見入ったりしている姿が見られた。また、おすすめの本を紹介していただくことにより、本への興味関心を高める機会となった。

**貸出総数 5月8日～11月30日まで（169日）**

★全校貸出冊数・・・36,444冊

★一人当たりの貸出冊数・・・120冊

低学年・中学年では図書の時間に、図書室でゆっくり本を読む時間を確保することができ、図書室への来館数が増加した。朝読書、読み聞かせ、図書館まつりなど、本に親しむ機会を作ることにより、図書館に行く楽しさ、読書の素晴らしさを感じている。

各学年における目標達成状況

学年	達成目標（冊）	1人当たりの達成数（冊）	達成率（%）
1年	100	127	127
2年	100	125	125
3年	100	127	127
4年	100	149	149
5年	100	91	91
6年	100	100	100

11月30日現在